

1 取組内容

(1) 朝の読書

- ・毎日登校後、朝の準備を終え次第、始業時間 8:20 まで読書をして静かに過ごす。
- ・読む本は、自由とし、学校図書館、学級文庫等を利用してもよい。
- ・毎学期、昭島市民図書館「司書が選んだ本 40 冊」を依頼し、各学級に配置する。

(2) 読み聞かせ

- ・朝読書の時間に、保護者に読み聞かせを依頼し、可能な範囲で実施する。

(3) 年 3 回の読書旬間

- ・読書旬間中は、朝の時間を読書の時間に当て、読書の習慣化を推進する。
(読み聞かせなどを取り入れても良い。)
- ・いろいろな分野の本に親しみ、読書の楽しさを味わわせることをねらいとして、読み聞かせや読書ビンゴ、おすすめの本の紹介などを行う。

(4) 国語科における読書活動の推進

- ・「読むこと」の単元における読書活動、学習の発展としての読書活動の時間を十分に確保し、ねらいを明確にして指導する。
- ・各学年の教科書付録資料に紹介されている本を利用する。また、支援員を活用する。

(5) おはなし会

- ・本の読み聞かせを、図書ボランティアと連携して行う。

(6) 学校図書館関係者会議の計画・実施・連絡調整

2 開館、貸出について

(1) 常時開館とする。

(2) 中休みは、図書委員の児童が、貸出・返却を行う。

(3) 貸し出しは 1 週間とする。読み終わらないときは、一度返してからまた借りる。

(4) 貸し出しは一人 2 冊、長期休業中は 5 冊まで。

3 図書購入について

(1) 本校の図書選定基準にそって、学校図書館部がまとめる。

(2) 教科書の読書教材も参考にする

4 その他

(1) 図書ボランティアと連携し、読書環境の充実を図る。

(読み聞かせ・本の整理・装飾等)

(2) 市立図書館と連携し、図書の充実を図る。

(学級文庫の本を借りる・調べ学習に使用する資料を借りる等)

(3) 図書館支援員と連携し、学校図書館の運営を行ったり、図書館を活用した授業の支援を工夫したりする。